

# KIKUCHI PROJECTION SCREEN

壁掛型スクリーン（KPS-80・100）

取り扱い及び設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い及び設置説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

## 安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」の内容を表しています。



この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。






このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表しています。

取扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

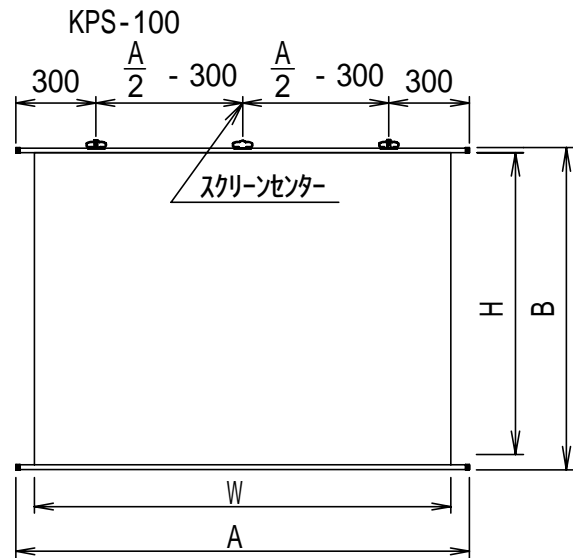
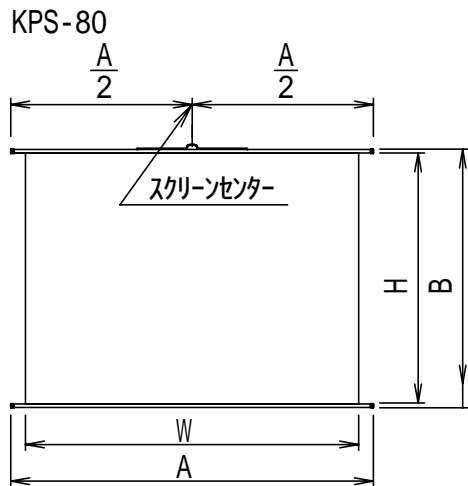
## 目次

安全上のご注意	1、2
仕様及び寸法図	3
壁面に設置する場合	
スクリーン設置方法(壁面等)	4、5
スクリーン収納方法	5、6
スタンドを利用して設置する場合	
スクリーン設置方法(別売りスタンド使用時)	7～10
スクリーン収納方法	10～12
メンテナンスノート	13
スクリーン面の取り扱い方法	14

安全上  ご注意

 注意	<p>支柱ストッパーレバーを押す時、又は、ノブネジを回す時は必ずきき手でしっかりと操作して下さい。</p> <p>軽く持っているとお中支柱が急激に降下し危険です。</p> <p>スタンドを設置する場合は、平らな所を選んで下さい。</p> <p>スタンドが傾いていると転倒する危険があります。</p> <p>屋内に設置する場合は、人が通らない場所を選んで設置し、お子様などが誤って触れないよう充分注意して下さい。</p>
 禁止	<p>屋外などの風がある場所では、スクリーン面全体に大きな力が加わり転倒する事がありますので、使用しないで下さい。</p>
 警告	<p>スクリーン及びスタンド収納後は、それぞれ立てかけたまま放置しないで下さい。転倒する危険があります。</p>

# 壁掛型スクリーン寸法図

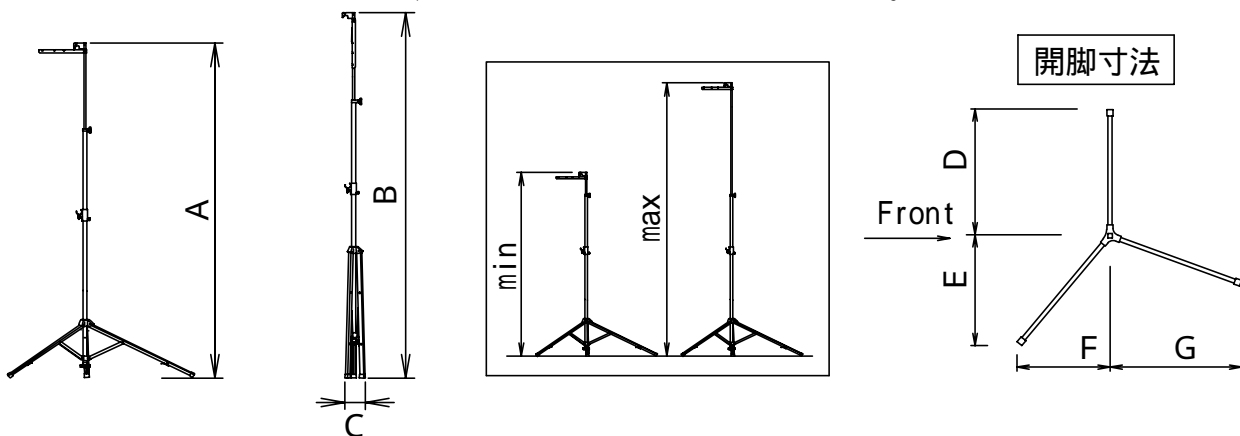


- \* 付属品  
 取り扱い説明書 × 1  
 専用ケース × 1  
 黒ゴムバンド × 2

## スクリーン規格一覧

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	スクリーン外寸		吊り箇所	重量
ホワイトマット・ハンズ生地	グレイマット・ハンズ生地		A	B		
KPS-80W	KPS-80AM	1626 × 1219	1711	1267	1	2.5
KPS-100W	KPS-100AM	2032 × 1524	2117	1572	3	2.9

壁がご使用になれない時は、下のスタンドをご利用ください。



## スタンド規格一覧

型番	使用時 (A)		脚を閉じた時		開脚寸法				重量 (kg)
	最高位置	最低位置	B	C	D	E	F	G	
ST-101	2250	1420	1500	90	560	440	350	530	3.2
ST-102	2720	1850	1980	90	685	495	440	630	3.8
ST-104	3550	2150	2255	120	685	495	440	630	4.4

## 壁面に設置する場合

### スクリーンの取り付け方法

吊り金具又は、ヒートンなどを利用してかけます。吊り金具やヒートンは付属しておりませんので、お客様の方でご用意ください。

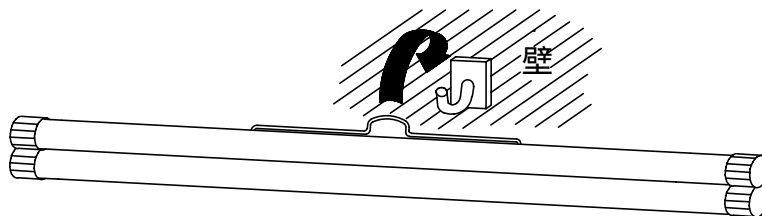


製品重量に見合った金具を、お選び下さい。不適切な選択の場合、金具の変形、スクリーンの脱落などの恐れがあります。

#### 1 - 1 スクリーンをかけます。

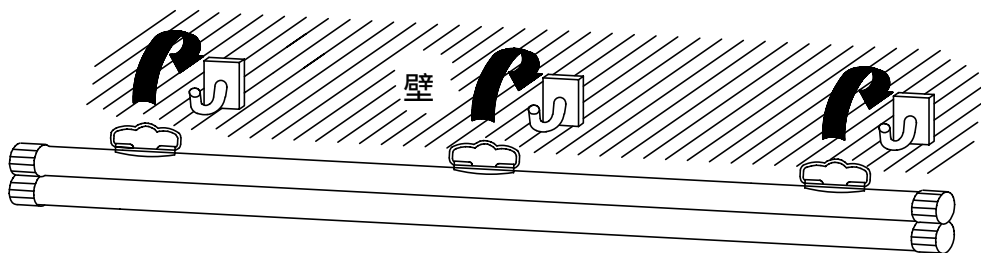
KPS-80の場合（吊り位置 1ヶ所）

片方の手で上下パイプを握り、もう一方の手で上部吊り金具を持ち、吊り金具又はヒートンにかけます。

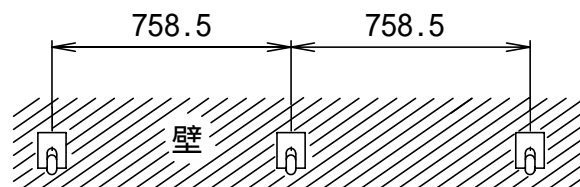


KPS-100の場合（吊り位置 3ヶ所）

2人で各自が片方の手で上下パイプを握り、もう一方の手で上部吊り金具を持ち、吊り金具又はヒートンにかけます。吊り金具又はヒートンの取り付けは、3ページのスクリーン規格一覧表の外寸(A) ÷ 2-300で間隔を決め、床から平行な位置に取り付けてください。




吊り金具又はヒートンの中心の距離758.5を床から平行な位置にマーキングして位置を決めてください。

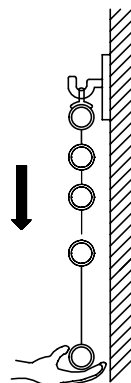


KPS-100スクリーンは吊り金具が3箇所に取り付られています。中央1箇所だけのご使用はしないでください。しわや脱落の原因になります。作業は必ず2人以上で行ってください。

## 1 - 2 スクリーンを降ろします。

掛軸をかける要領で、下部パイプに巻き付いているスクリーンに手を添えゆっくりと下へ降ろします。

 手を添えずに急に離すと、スクリーンを傷つけたりこわしたりすることがあります。

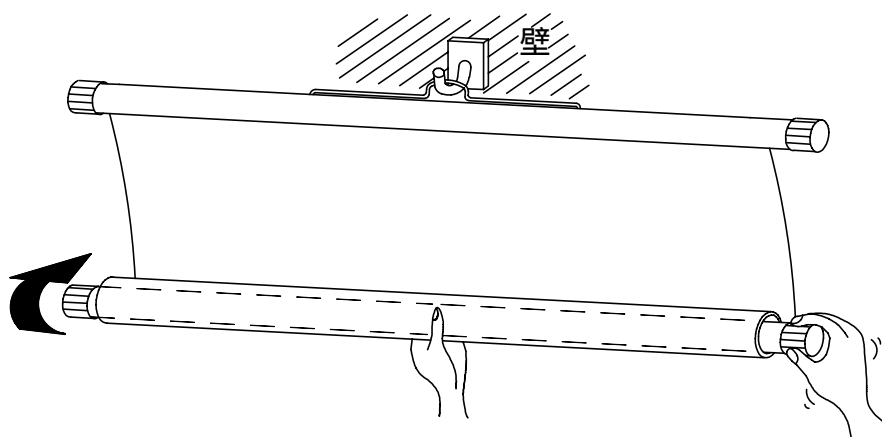



## スクリーンの収納方法

### 2 - 1 スクリーンを巻き上げます。

KPS-80の場合（吊り位置1ヶ所）

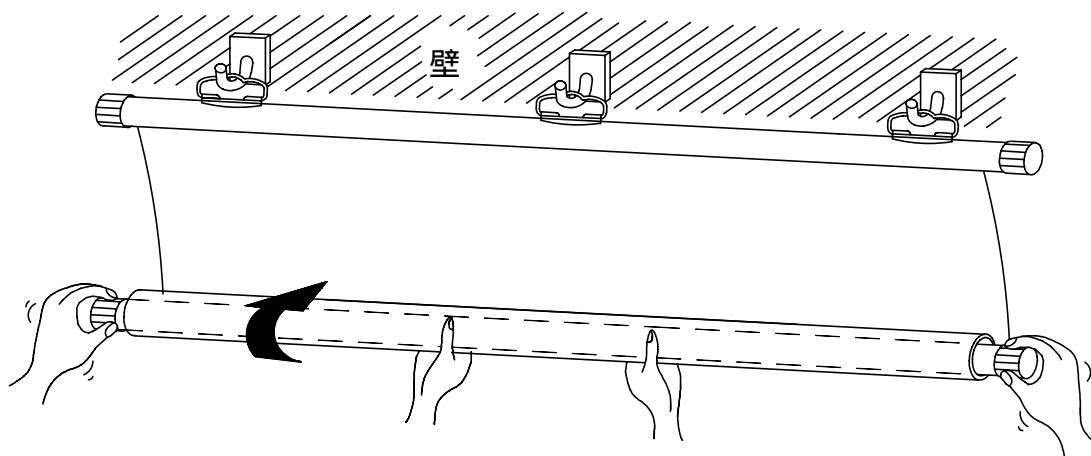
下部パイプの中央部を持って一周させてから、片方の手でパイプ端の白キャップをしっかり握り、強めに巻き上げて下さい。この際もう片方の手では、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にしてください。



 **注 意** 中央部を強く握るとスクリーン表面に傷などが付く恐れがあります。

KPS-100の場合（吊り位置3ヶ所）

両側にわかれ、下部パイプの中央部を持って一周させてから、片方の手でパイプ端の黒キャップをしっかり握り、強めに巻き上げて下さい。この際もう片方の手では、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にしてください。



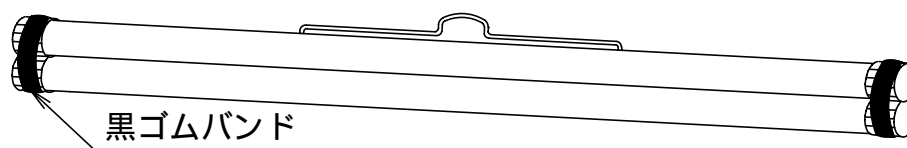
ゆるい巻き上げは、スクリーンの折れ曲りを発生させ、表面に傷などが付く恐れがあります。左右2人で巻き上げ、スピードを必ず合わせて行ってください。

## 2 - 2 スクリーンをはずします。

4ページのスクリーン取り付け方法の1 - 1の逆の動作でとりはずしてください。

## 2 - 3 ゴムバンドをかけます。

保護用の為に、付属の黒ゴムバンドを下図の様にかけます。



使い終わったスクリーンは、必ず付属のキャリングケースに入れ、水平に保管してください。スクリーン単体を立てかけたまま放置しないでください。転倒によりスクリーンが傷つく恐れがあります。

# 別売のスタンドを利用して設置する場合

## スクリーンの取り付け方法

### 1 - 1 スクリーンスタンドを準備します。

スタンド使用数

KPS-80・・・1本

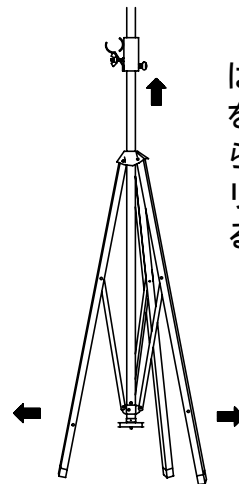
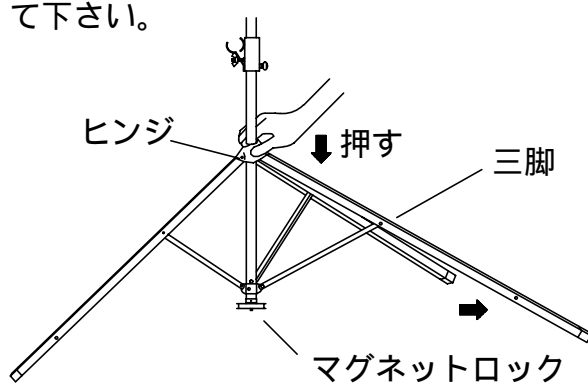
KPS-100・・・2本



マグネットがはずれると、三脚が急激に開きますのでご注意ください。

### 1 - 2 三脚を開きます。

スクリーンスタンドを軽く持ちあげ、ヒンジを強く押し下げてマグネットロックをはずして下さい。

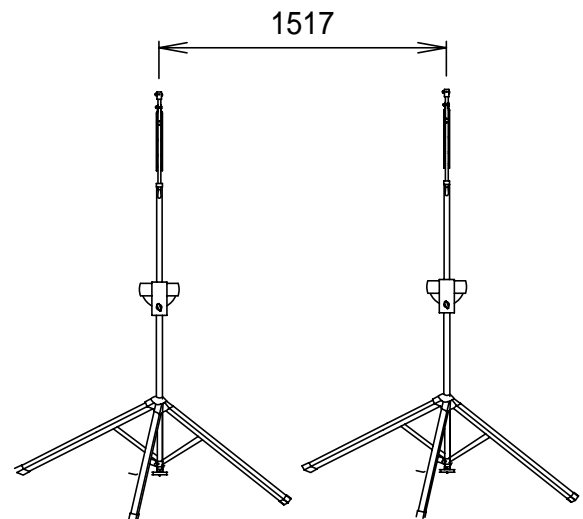


はずれにくい場合は、三脚足部を1本ずつマグネットロックからはずし、全部はずれたらスクリーンスタンド全体を持ち上げると、自然に開きます。

### 1 - 3 スタンドの設置位置を決めます。

KPS-100スクリーンは吊り金具が3箇所に取り付られています。これらの機種は、上パイプ左右の吊り金具を利用して2点で吊り下げます。

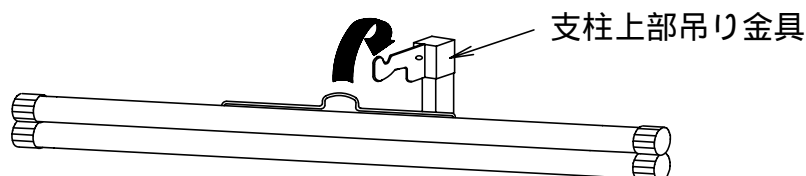
スタンドの支柱上部中心間の距離を1517mmに合わせると位置調整が簡単にできます。



### 1 - 4 スクリーンをかけます。

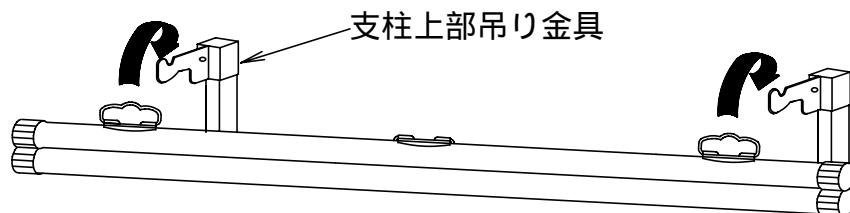
KPS-80の場合（吊り位置1ヶ所）

片方の手で上下パイプを握り、もう一方の手で上部吊り金具を持ち、スタンドの支柱上部吊り金具へかけます。



## KPS-100の場合（吊り位置3ヶ所）

2人で各自が片方の手で上下パイプを握り、もう一方の手で上部吊り金具を持ち、スタンドの支柱上部吊り金具にかけます。スクリーン側の吊り金具と支柱上部吊り金具の位置がズレている場合、スタンド側で位置の調整をしてください。



KPS-100スクリーンは必ずスタンドを2本以上使ってスクリーンをかけてください。中央の吊り金具のみをスタンド1本だけにかけて使用するとしわや落下の原因になります。作業は必ず2人以上で行ってください。

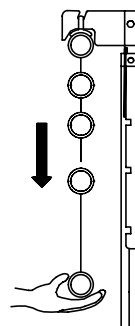
本来3本のスタンドにて自立して頂いた方がスクリーン面の平面性がより良いのですが2本でも下部ハートパイプをクランプ押え金具にて押えることにより平面性が維持されやすくなります。

### 1 - 5 スクリーンを降ろします。

掛軸をかける要領で、下部パイプに巻き付いているスクリーンに手を添えゆっくりと下へ降ろします。

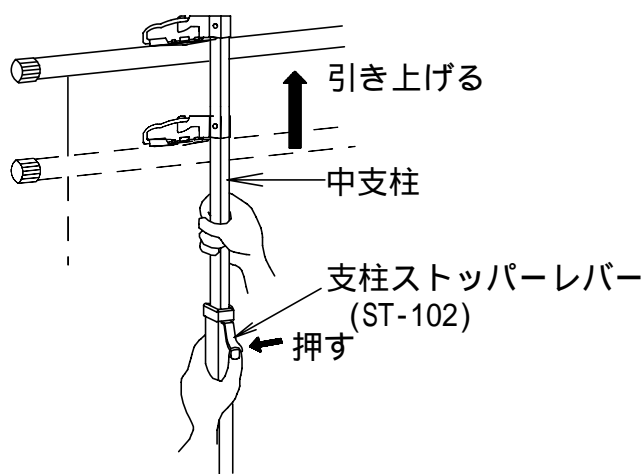
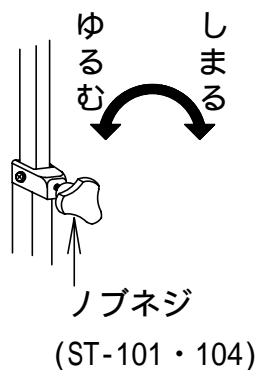


手を添えずに急に離すと、スクリーンを傷つけたりこわしたりすることがあります。



### 1 - 6 スクリーンを引き上げます。

支柱ストッパーレバー（ST-102のみ、ST-101とST-104はノブネジ）を押し、きき手で中支柱をしっかりと握りながら、あらかじめ決めた高さまで引き上げます。



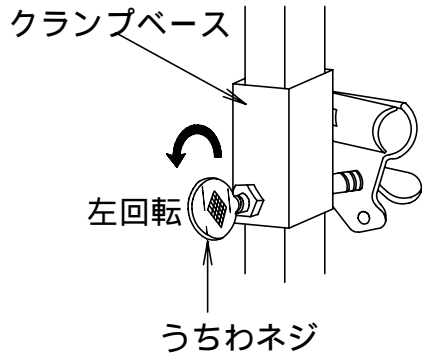
支柱ストッパーレバーを押し時、又はノブネジを回す時は、必ずきき手でしっかりと握り操作してください。軽く握っていると、中支柱が急激に降下し危険です。



左右の高さは、同一になる様必ず2人で調整して下さい。同一でない場合画像のゆがみが発生します。

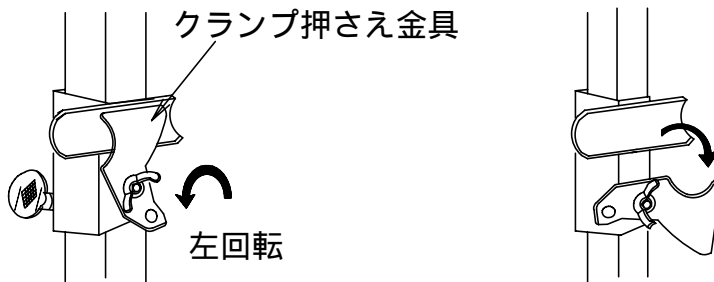
## スクリーンの取り付け方法

うちわネジを左にまわしてゆるめ、クランプベースをフリーにし、ほぼ下部パイプの位置まで下げ軽く締め付けます。スクリーン下部パイプがクランプ押さえ金具より下へきてしまう場合は、いったん1 - 6の作業を行い、スクリーン全体を上げてから位置を合わせてください。

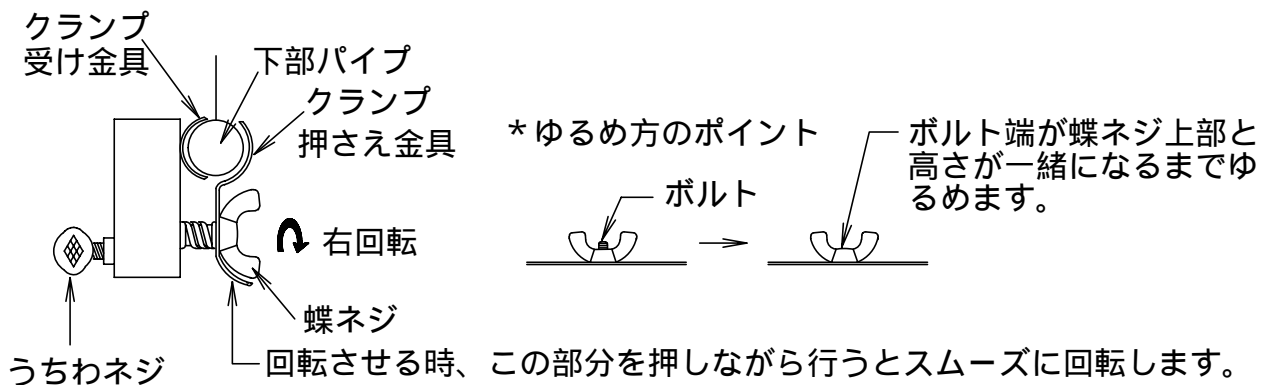


### 1 - 7 下部パイプを固定します。

クランプ押さえ金具用の蝶ネジをゆるめ、下部パイプが装着しやすい様回転させておきます。

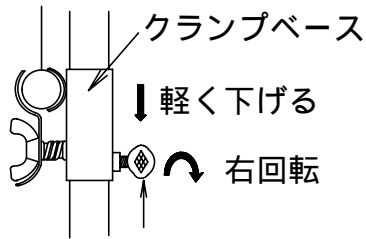


下部パイプをクランプ受け金具に合わせ、クランプ押さえ金具を回転させて、パイプをはさみます。パイプが斜めになっていない事を確認し、ネジ山が2～3山出る位締め付けます。この場合、うちわネジは高さ調整の為、ゆるめてフリーにしてください。



うちわネジをフリーにしないで不適切な位置で作業を行いますと、スクリーンの折れ曲りなどが発生する恐れがあります。

位置が確定しましたら、下部クランプベースを軽く下へ押し下げスクリーンに張りを与え、その後うちわネジを強く締め付けます。クランプ近くの下部パイプ下面と床の高さを、あらかじめ巻尺などで計っておき、左右をそろえると比較的、簡単に同一の高さに調整出来ます。

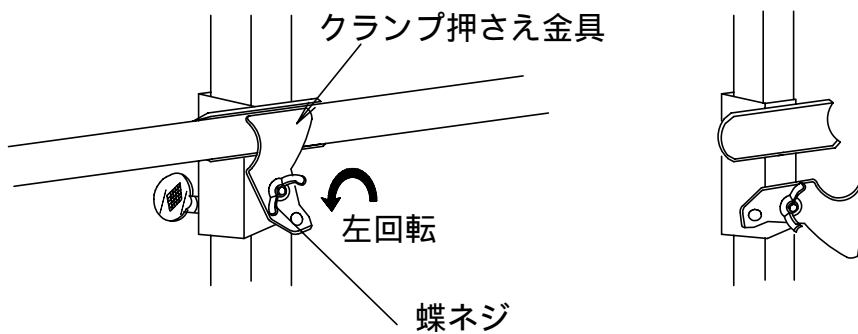


左右の高さは、同一になる様必ず2人で調節して下さい。同一でない場合、画像のゆがみが発生します。

## スクリーンを収納する方法

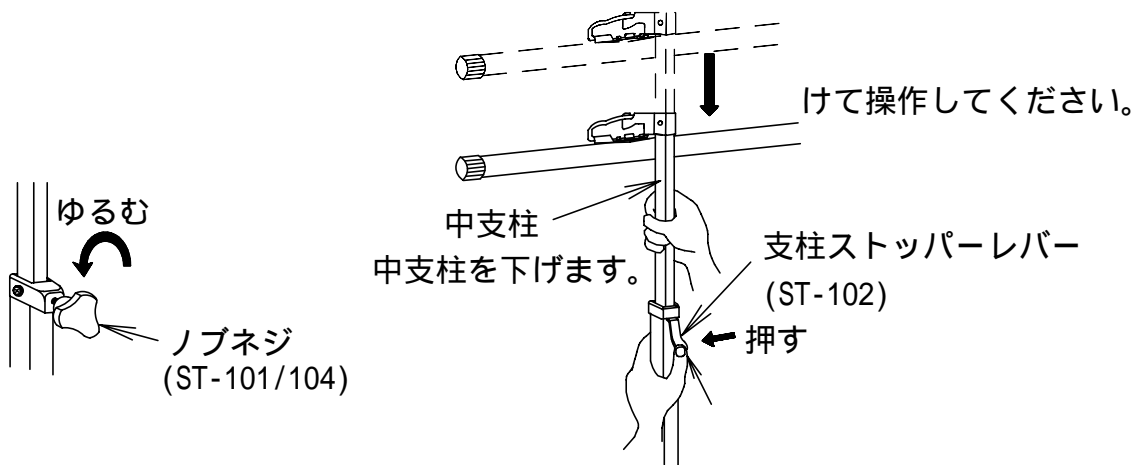
### 2 - 1 下部パイプをクランプからはずします。

左右のうちわネジをゆるめ、クランプベースをフリーにします。クランプ押さえ金具の蝶ネジをゆるめて、クランプ押さえ金具を回転させ、下部パイプをクランプからはずします。



### 2 - 2 スタンドを引き下げます。

きき手で中支柱をしっかりと握りながら、支柱ストッパーレバー (ST - 102) を押しながら、又はノブネジ (ST - 101・104) を回しながら最下端まで、左右同時にゆっくりと下げてください。

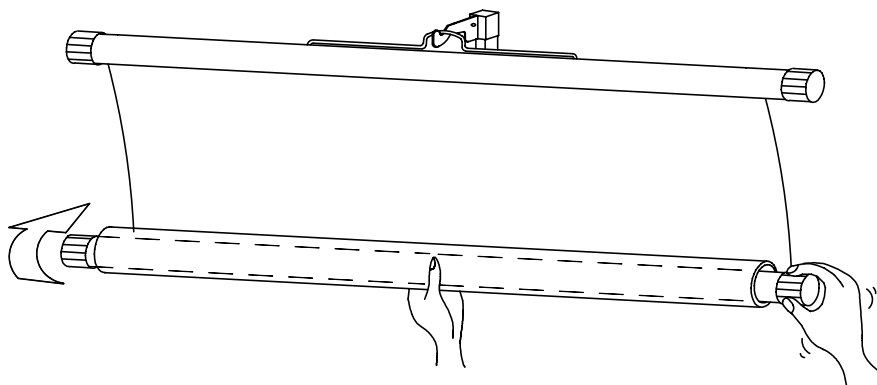


支柱ストッパーレバーを押す時、又は、ノブネジを回す時は、必ずきき手でしっかりと握り操作してください。軽く握っていると、中支柱が急激に降下し危険です。

### 2 - 3 スクリーンを巻き上げます。

KPS-80の場合（吊り位置 1ヶ所）

下部パイプの中央部を持って一周させてから、片方の手でパイプ端の白キャップをしっかり握り、強めに巻き上げてください。この際もう片方の手では、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にしてください。

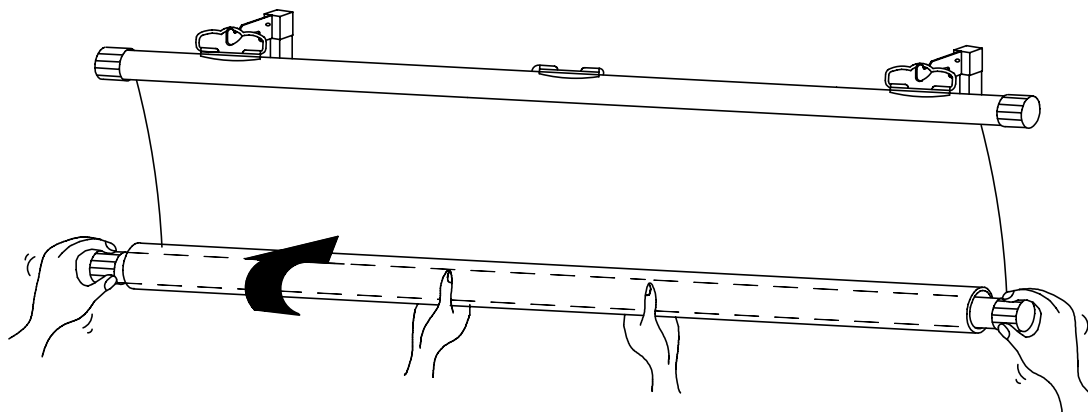


#### 注 意

中央部を強く握るとスクリーン表面に傷などが付く恐れがあります。

KPS-100の場合（吊り位置 3ヶ所）

両側にわかれ、下部パイプの中央部を持って一周させてから、片方の手でパイプ端の白キャップをしっかり握り、強めに巻き上げてください。この際もう片方の手では、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にしてください。



ゆるい巻き上げは、スクリーンの折れ曲りを発生させ、表面に傷などが付く恐れがあります。左右2人で巻き上げ、スピードを必ず合わせて行ってください。

### 2 - 4 スクリーンをはずします。

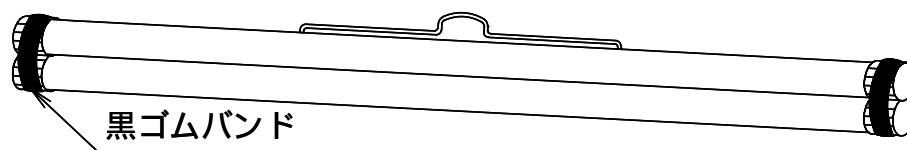
7ページのスクリーン取り付け方法の1 - 4の逆の動作で取りはずしてください。



この作業も必ず2人で行ってください。

## 2 - 5 ゴムバンドをかけます。

保護用の為に, 付属の黒ゴムバンドを下図の様にかけます。

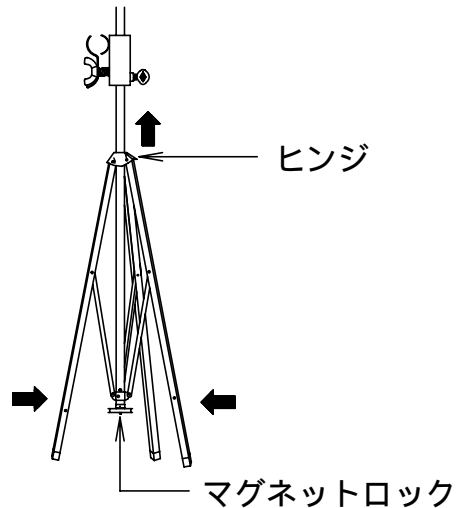


使い終わったスクリーンは、必ず付属のキャリングケースに入れ、水平に保管してください。スクリーン単体を立てかけたまま放置しないでください。転倒によりスクリーンが傷つく恐れがあります。

## 2 - 6 スタンドを収納します。

三脚を閉じます。

スクリーンスタンドを軽く持ち上げ、ヒンジを引き上げるとマグネットロックにより固定されます。



三脚の内側に指を入れて閉じないで下さい。指がはさまれ危険です。

# メンテナンスノート



# 注意

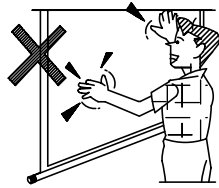
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

## 使用上のご注意

スクリーン面に手をふれないでください。



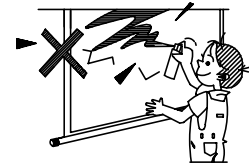
禁止



スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



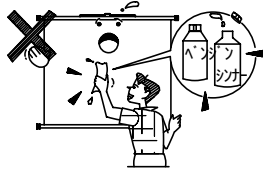
禁止



水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



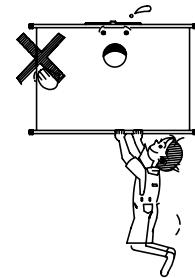
禁止



下部パイプやスクリーンにぶらさがったりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

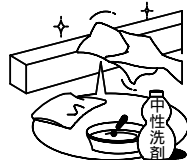


警告

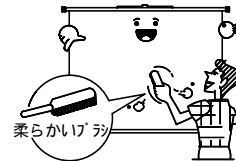


## お手入れのしかた

上下パイプの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



## 置き場所・保管についてのご注意

直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

---

株式会社 キクチ科学研究所

本 社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL.(03)3952-5131(代) FAX.(03)3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24

Y sピアアクセス心齋橋7F

TEL.(06)6538-6070(代) FAX.(06)6537-2321

戸田M L C 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6

TEL.(048)422-3821(代) FAX.(048)422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>